

為替ヘッジ付き外債は過去最高値を更新

- 新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、世界的に金利が低下し、米ドルやユーロなど主要通貨が対円で下落しています。その環境下、為替ヘッジ付き外債*は過去1年で11.1%上昇し、過去最高値を更新するなど、足元で良好なパフォーマンスとなっています。
- 世界的に低金利が持続する現在の環境下、為替ヘッジコストを比較的低位に抑えることができるため、国内の投資家から為替ヘッジ付き外債は選好されやすいと考えます。

世界的に金利が低下し、米ドルとユーロは対円で下落

足元では新型コロナウイルスの感染拡大の影響による世界的な景況感悪化が懸念される状況にあり、不安定な市場の動きに対して、米国をはじめオーストラリアやカナダなどは利下げを実施しています。米国10年国債利回りは、2019年3月の2.5%前後の水準から低下基調が続き、FRB（米連邦準備制度理事会）が利下げした2020年3月3日には1%割れとなりました。その後も、新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大し、人の移動が制限・禁止される動きなどが強まっています。さらに、産油国間での減産協議がまとまらなかったことから、足元では原油価格が急落し、9日の米国株式市場では売りが殺到する中、同国債利回りは0.5%台に低下しました。欧州でも、感染拡大により封鎖の動きがみられるイタリアを中心に先行き警戒感が強まり、ECB（欧州中央銀行）による一段の緩和策実施が観測される中、ドイツ10年国債利回りは-0.85%まで低下しました。

為替市場でも、世界的な景気悪化懸念台頭と日本との金利差縮小の動きから、米ドルとユーロは対円で下落しています。2月20日時点では112円台だった米ドルは3月9日には102円台に下落し、同様にユーロは120円台から117円台へ下落しました。

* 為替ヘッジ付き外債は、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース、為替ヘッジあり）

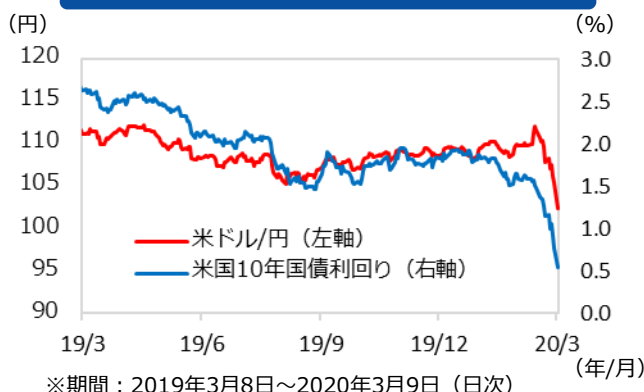
為替ヘッジ付き外債は引き続き選好されやすい環境

為替ヘッジ付き外債は、世界的な金利低下の動きを受けて、過去1年で11.1%上昇するなど堅調に推移し、外債や国内債を上回るパフォーマンスとなっています。また、為替ヘッジ効果がプラスに働く中、リスクも抑えられています。その結果、リスク当たりのリターンも良好な数値となっており、投資効率の高いパフォーマンスと言えます。為替ヘッジコストは、主に対象となる国との短期金利の差などから導かれます。各国の金利が歴史的な低水準となっている環境が今後も続く場合、為替ヘッジ付き外債は為替ヘッジコストを引き続き抑えられることなどから、国内の投資家から、分散投資の対象として選好されやすいと考えます。

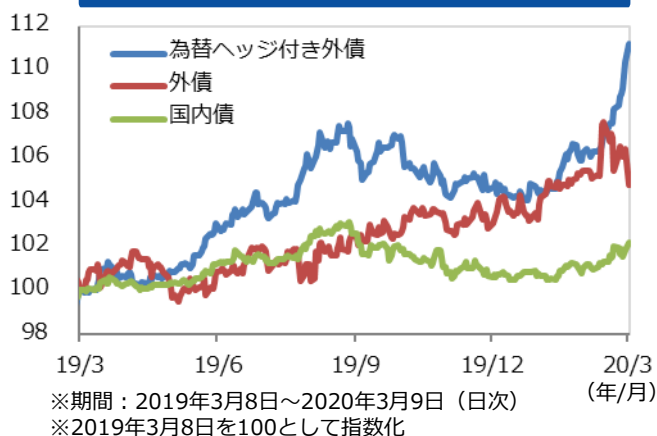
※上記は、過去の情報および作成時点の見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。

米ドル/円と米国10年国債利回りの推移



為替ヘッジ付き外債、外債、国内債の推移



為替ヘッジ付き外債、外債、国内債の リターン・リスク

	リターン	リスク
ヘッジ外債	11.1%	4.1%
外債	4.8%	5.2%
国内債	2.2%	2.4%

※期間：2019年3月8日～2020年3月9日（日次）
※リターン、リスクとも円ベース、年率

※為替ヘッジ付き外債はFTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース、為替ヘッジあり）、外債はFTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース、為替ヘッジなし）、国内債はNOMURA-BPI総合

出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（REIT）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.85%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.09%（税込）

※ 上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

■ その他費用・手数料

上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。

その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※ 手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※ 投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※ 税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となる場合があります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。
2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

【指数の著作権等】

■ FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

■ NOMURA-BPI総合の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。